（小３３）鹿児島市立八幡小学校
令和６年１月５日

令和５年度　学校評価　自己評価書（２学期）

１　学校の重点目標

○「笑顔で挨拶八幡っ子」の実現に向け，笑顔で相手を見てあいさつができる児童を地域とともに育成する。
○「整理・整頓気持ちのいい学校」の実現に向け，清掃マニュアルや校内掲示物の在り方を見直していく。
○「命を守る学校」として，安全教育，事故防止，健康教育，児童虐待等に向け，事前指導や危険の予兆の早期発見・早期対応できる校内体制の充実を図る。
○「確かな学力の育成」に向け，テーマ研究を通した指導力向上や ICT や重点問題を利用した体制構築を図る。

２　課題と改善策

	評　価　項　目	職員	評価結果と改善方策
学力向上	1　学習の仕方の指導（準備，姿勢等）	3.1	・授業間（休み時間）の過ごし方の指導を重視する。
	2　家庭学習の内容や定着度の確認	2.7	・家庭学習の定着を図った。定着を図る取組を工夫する。
	3　問題解決的な学習のめあての設定	2.8	・問題解決的課題とまとめが整対する授業を実施する。
	4　主体的・対話的で深い学びとなる指導	2.7	・意識して学び合う場を設定できた。質を高めていく。
生徒指導 郷土教育	1　ICT 機器の有効活用	3.1	・家庭持ち帰りも段階的に実施した。
	2　情報活用・情報モラルに関する指導	2.8	・学校における指導は計画的に実施することができた。
	3　学校支援ボランティア等の活用	2.4	・学校生活の多様な場面で活用が図られつつある。
	4　AEA との連携，外国語教育の充実	3.0	・学年担当を中心に，AEA と連携した授業ができた。
心の教育	1　挨拶・返事の指導	3.0	・多様な場面で適切に挨拶できるようにしていきたい。
	2　読書指導の充実	3.0	・読書冊数が全体的に増加している。
	3　いじめ・不登校「０」に向けた取組	3.0	・いじめの認知体制は整ってきた。解消に向けた指導・見届け，保護者連携の在り方を一層充実させていく。
	4　道徳の時間の充実	3.0	・道徳科の授業で学校生活を見直す内容を工夫して取り組んだ。
	5　教育相談の充実	3.3	・相談があった場合，話をよく聞き，できる対応を担任やその他の職員とともに検討し対応することができた。
人権教育 特別支援教育	1　人権教育についての取組	3.0	・人権週間において，全校朝会や各学級の標語の取組など計画的に実施できた。
	2　個に応じた指導	3.0	・それぞれの児童の実態に応じ個別指導に努めた。学校の業務改善を一層推進し，時間を確保していきたい。
	3　適切な就学指導の充実	3.1	・コーディネーターと連携しながら，保護者との継続　的な教育相談を実施している。
体力向上 保健指導	1　朝の体力つくりの励行	2.5	・運動委員会を中心に朝の運動や一校一運動の取組を実施することができた。
	2　一校一運動の取組	2.3	
	3　感染症予防の取組（新型コロナウイルス等）	3.3	・咳エチケットについて重点的に指導することができた。
	4　食事のマナー・偏食指導の充実	3.2	・バランスの取れた食事の指導を重ね，低学年では嫌いなものを食べることができる児童も増えてきている。
安全指導 防火防災	1　登下校の安全指導の徹底	3.0	・関係機関とも連携し，登下校の安全は守られている。
	2　廊下歩行の指導の徹底	2.8	・「はさみや」運動の継続指導で歩行マナーは向上した。
	3　移動教室の指導の徹底	2.9	・移動教室のルールを今後も継続して取り組む。
	4　災害時の指導の徹底	3.2	・「防災の日」の啓発や引き渡し訓練を実施できた。
教育環境	1　清掃指導の充実	3.0	・清掃作業の指導の徹底，見届けの徹底を図っていく。
	2　教室・廊下の整理整頓	3.1	・靴箱がきれいにそろえられるようになった。
	3　学級園の整備	2.9	・やや担当任せになっていた。各学級で責任をもって　整備を行う。
	4　ごみの分別，節水・節電指導の充実	3.0	・ごみの出し方の見届け，声掛けを継続していく。

３　次学期に向けての取組

○　「笑顔で挨拶八幡っ子」の実現に向け，３学期も継続して挨拶指導に力を入れて取り組んでいく。特に，来校者等への挨拶に力を入れる。
○　「整理整頓気持ちの良い学校環境づくり」のため，特に清掃指導の在り方を見直し，日々の清掃活動が一層充実するように手立てを講じていく（今後縦割り班での清掃指導の実施も検討する）。
○　「命を守る学校」として各種避難訓練や日々の下校指導等安全指導の充実に努める。
○　「主体的・対話的で深い学び」の授業実現と個に応じた指導の充実に向け，授業像の共有や指導技術の向上に資する研修，教師間の学び合いが活性化する組織づくりの字図減を図っていく。また，１人１台タブレット端末やデジタルドリルを活用した学力定着の在り方を模索していく。
○　新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の予防のための保健指導を充実させ，児童の発達の段階に合わせて具体的・継続的に指導していく。